

# マラヤン・バンキング (MBBM)

新5カ年計画「ROAR30」で、パーパスの強化、地域・グローバルリーダーシップ、基盤強化の三本柱を掲げる  
マレーシア | 銀行 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG MAY:MK | REUTERS MBBM.KL

- 2025/12 期 4Q (10-12 月) は営業収益が前年同期比 1.3%増、純利益が同 5.7%増。純金利収益増、経費率改善、不良債権処理費用減が貢献
- イスラム金融事業が増収増益で堅調に推移。資産規模はマレーシアで市場シェアを拡大し、2位を引き離し首位を占める。
- 1月発表の新5カ年計画「ROAR30」で、パーパスの強化、地域・グローバルリーダーシップ、基盤強化の三本柱を掲げる。

## What is the news?

2/26 発表の 2025/12 期 4Q (10-12 月) は、営業収益が前年同期比 1.3%増の 75.19 億 MYR、経費率が同 1.0 ポイント低下改善の 48.7%、純減損引当金繰入額が同 39.5%減の 2.25 億 MYR、純利益が同 5.7%増の 26.75 億 MYR だった。貸出の伸び、純金利マージンの回復に加え、非金利収益における経常的コア収益も堅調。経費率の改善、不良債権処理費用の減少も最終増益に貢献した。前四半期比では、純営業収益が 0.7%増、純利益が 2.1%増、12 月末総貸倒れ償却比率 (GIL) が 0.04 ポイント低下の 1.28%へ改善した。

(1) 4Q の純営業収益の内訳は以下の通り。①純金利収益が前年同期比 6.0%増の 53.34 億 MYR。純金利マージン (NIM) が 0.03 ポイント上昇の 2.09%へ改善したことに加え、12 月末貸出残高が 1.7%増加した。②非金利収益が同 8.6%減の 21.84 億 MYR。経常的コア収益はウエルスマネジメント業務や投資銀行業務などが伸びて 6.8%増の 20.5 億 MYR だったが、保険料収入やその他の非経常収入の減少が響いた。

(2) イスラム金融事業の通期は、総収益が前期比 7.2%増の 90.99 億 MYR、税引き前利益が同 11.2%増の 46.53 億 MYR、9 月末におけるマレーシアでの資産の市場シェアは 30.4%と 2位の CIMB (同 15.6%) を引き離して 1 位である。生命保険・タカフル (イスラム損害保険) 事業の通期は、税引き前利益が同 13.2%減の 13.21 億 MYR だった。

## How do we view this?

2026/12 通期会社見通しは、経費率が 49% (前期実績 48.8%)、純クレジット・チャージオフ・レートが 20bps (同 8bps)、純金利マージンが 2.05-2.10% (同 2.05%)、貸出残高の伸び率 (為替の影響を除く) が前期比 4-5% (同 1.7%) である。同行が注力するデジタルソリューション・プラットフォーム事業について、マレーシアにおける取引金額の 4Q の前年同期比は、Maybank2u アプリが 10%増、中小企業向けデジタル融資のモバイルアプリが 17%増、QR コード決済の QRPay が 92%増。インドネシアでは Maybank2u アプリが 8%増、モバイルアプリが 11%増、QRPay が 82%増と、両国ともに成長拡大している。さらに、シンガポールでもこれらのアプリの取引金額が拡大し始めている。

1月発表の新5カ年計画「ROAR30」は「金融サービスを人間らしくする」という長年のパーパスを再強化しつつ、スケールある事業構築と基盤強化を軸に、ROE の 13-14% (現在、約 11.7%) 達成を目指している。「ROAR30」の三本柱として、①パーパスの強化 (顧客体験の卓越化、サステナブル・ファイナンスの 3000 億 MYR 達成など)、②地域・グローバルリーダーシップ (グローバル・イスラム金融、イスラム金融のグローバル化、地域決済と同行の統合プラットフォームなど) ③基盤強化 (技術、データ、AI に 100 億 MYR を投資) を掲げている。

## 業績推移

※参考レート 1MYR=40.621円

事業年度	2023/12	2024/12	2025/12	2026/12F	2027/12F
当期利益 (百万MYR)	9,350	10,089	10,514	10,990	11,499
EPS (MYR)	0.78	0.84	0.87	0.92	0.96
PER (倍)	9.88	11.20	11.70	12.77	12.20
BPS (MYR)	7.85	7.79	7.73	8.18	8.46
PBR (倍)	0.98	1.20	1.32	1.43	1.38
配当 (MYR)	0.59	0.61	0.63	0.67	0.69
配当利回り (%)	7.70	6.52	6.18	5.70	5.94

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想 (MYR) **0.67** (予想はBloomberg)  
 終値 (MYR) **11.68** 2026/3/17

## 会社概要

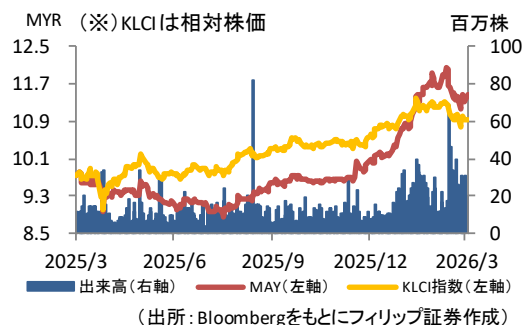
1960年に設立されたマレーシアの大手商業銀行で、マレーシア証券取引所で時価総額が最大の企業。「メイバンク」の愛称として知られ、マレーシア、シンガポール、インドネシアを中心に一般商業銀行、イスラム系銀行業務を行う。

子会社を通じて商業銀行、投資銀行、イスラム銀行、海外金融、リース、保険、ファクタリング、信託、資産管理、証券などのサービスを提供。グループ傘下のメイバンク・イスラムは、アジア太平洋地域のイスラム金融の銀行として国内トップ。また証券事業のメイバンク・キムエンは、2011年にTOBにより三菱UFJ証券ホールディングスより買収した。

3つの中核業として、①コミュニティ金融サービス (消費者金融、中小企業向け金融、および事業金融を含む。)、②グローバル銀行 (大企業や機関投資家向けの金融であり、投資銀行、証券業務、アセットマネジメント業務を含む)、③通常の保険およびイスラム保険 (タカフル) を手掛けている。

## 企業データ (2026/3/18)

ベータ値 0.80  
 時価総額 (百万MYR) 141,107  
 企業価値=EV (百万MYR) #N/A/N/A  
 3か月平均売買代金 (百万MYR) 254.7



## 主要株主 (2026/3)

(%)

1.AMANAH SAHAM NASIONAL BHD	65.69
2.EMPLOYEES PROVIDENT FUND BOARD	12.31
3.YAYASAN PELABURAN BUMIPUTRA	6.11

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

## リサーチ部

笹木 和弘  
 kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp  
 +81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会認定アナリスト、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考としてレポートの作成者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害について、フィリップ証券も、本レポートの作成者も、責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載することを禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則（平14.1.25）」に基づく表示>

・フィリップ証券または本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。